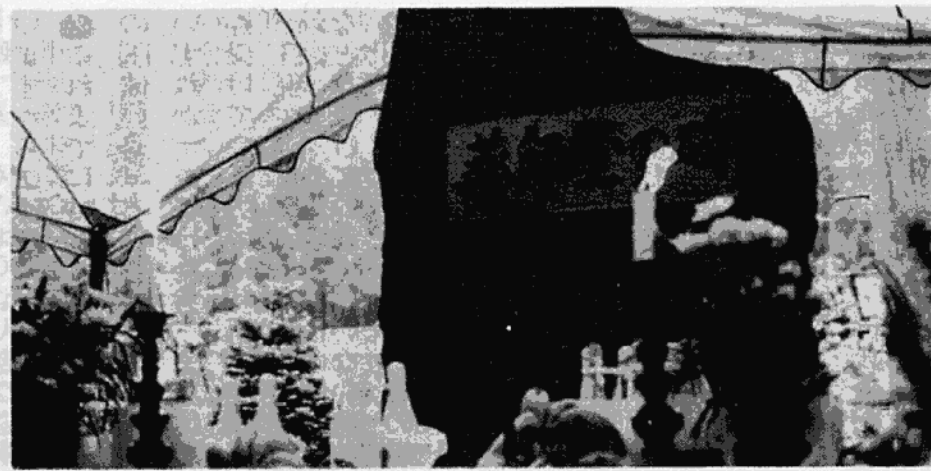


久次良薬師堂の 碑を建立



久次良薬師堂の参道入口に、五月十五日、久次良薬師堂の碑と記された、立派な碑が建立されました。この碑石は、室町時代に久次良先住人が、苦勞して同薬師堂参道に架設した石橋です。それ以来、同堂信仰の要所となっていたことを後世に永く伝えるため、現橋架替の際に、久次良町の有志が建設資金を募って建立したものです。

なお、同薬師堂は、明応五年（一四九六年）あるいはそれ以前の創建による由緒ある堂宇で、薬師如来と十二神将を祀り、現世利益と応病与薬の守り仏として、広く信仰を集めてきました。そして、久次良住人によって守られ、今日に至っています。

今月のトリム



四月から毎月「広報につこう」の別刷として、お届けしている「体力づくりの実際トリム」は、今月が三回目。各ご家庭では、実践されていると思いますが、今月は、主婦向け「買物トリム」です。

主婦にとって、買物に使う時間は、案外に多いもの。その貴重な時間を使ってのトリムはどうでしょう。買物前に、買物中に、買物後に、美容をも兼ねた体力づくり。どうぞ実行されますように……。

毎月 第3日曜日は
家庭の日
健康で明るい
家庭づくりを!!

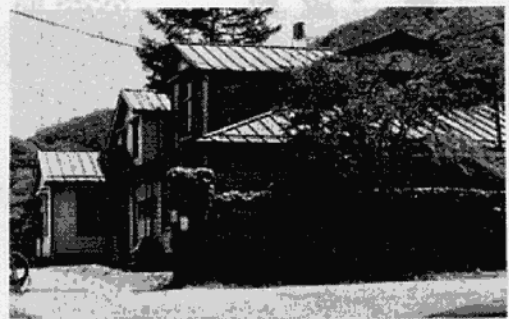
文化団体名を お知らせください

中央公民館では、市民のひろばとしての役割を十分に果たすために、各種の文化団体名をとりまとめています。みなさんが所属している団体や同好会などの名称を、六月三十日までにお知らせください。

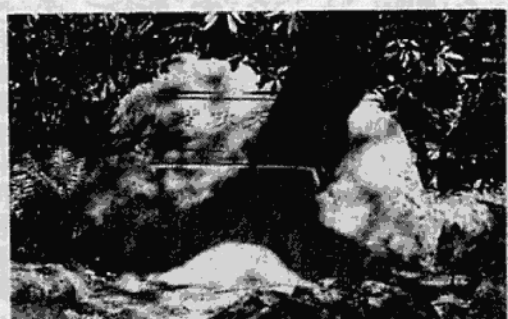
◎連絡先 日光市御幸町五〇八
日光市中央公民館 ☎(三三七〇〇)

人事

- 日光市役所（係長以上）
- ▽教育課学校教育係係長兼図書館副主幹（同課社会教育係係長兼中央公民館副主幹）佐藤隆司
- ▽教育課社会教育係係長兼中央公民館副主幹（同課社会教育係係長兼中央公民館副主幹）佐藤隆司
- ▽教育課社会教育係係長兼図書館副主幹（同課社会教育係係長兼図書館副主幹）星圭二（以上5月1日付）
- ▽退職（総務課付主幹）小林吉次郎（5月2日付）
- ▽兼リフト事業所長（観光課長）川井淵（5月11日付）



現在の清滝診療所



大正天皇御由緒地の碑



両陸下行幸啓記念館

前の幼児教育と、当時夫婦ともかせぎを奨励していたので、母親のために託児所を兼ねて始められた。栃木県内では、五番目の開園。その後、昭和17年4月に、観音前（現清滝一丁目）に新設移転し、昭和20年6月、養成所の一室に移り、現在は、元の清滝吉原に戻っている。

⑮ 精銅所付属病院開院（大正2年6月19日）

現在の精銅所正面前に建てられた。開院当時、敷地は一六〇〇坪（五二八〇平方尺）建物、本館・普通病舎・隔離病舎・付属建物の四棟のみで内科・外科・薬局の三科、医員は二三名であった。初代院長は、石谷兵九郎。

⑯ 大正天皇行幸（大正2年8月18日）

大正天皇は、特に日光を愛し、皇太子時代から、たびたび日光へおいでになった。天皇になられたからは、初めてこの年におみえになった。9月15日お帰りになるまで二十九日間ご滞在。この間9月6日には、精銅所へ行幸になった。以後毎年日光にはおみえになり、ご滞りの総日数は、七百三十九日の多きに及ぶ。

皇太子時代は、明治32年7月28日初めて日光におみえになり、以来十一回、三百二十日間ご滞在。現在花石町の日光植物園内に「大正天皇御由緒之地」の記念碑がある。

今月号から、大正時代に入りました。大正時代以降のめずらしい写真や資料をお持ちの方がいましたら、市史編さん室または、広報につこうの編集係までご連絡ください。